

パブリックコメントの反映その他の修正点

資料 4

パブリックコメント意見： 技能五輪や技能グランプリは技能レベルが高く、誰もが参加できない。ものづくり技能を身に付け始めた訓練生や学生が、自身の技術力を試せるような場があってもよいと思う。

変更前	変更後
<p>(3) 人材育成に取り組む契機となる技能五輪全国大会などの技能大会の活用 【具体的な取組例】</p> <p>➢ 「技能五輪全国大会」「技能グランプリ」等に参加する選手・団体の支援</p>	<p>(3) 人材育成に取り組む契機となる技能五輪全国大会などの技能大会の活用 (p 4 4) 【具体的な取組例】</p> <p>➢ 「技能五輪全国大会」「技能グランプリ」「若年者ものづくり競技大会」等に参加する選手・団体の支援</p>

その他の修正： 部会意見の反映、時点修正等

変更前	変更後
<p>1 計画のねらい ・・・</p> <p>9月8日に発表された令和2年(2020年)4～6月期のGDP年率換算はマイナス28.1%と戦後最大の落ち込みを記録、7～9月期は年率換算21.4%の増加に転じたものの、経済規模の回復は半分余りに留まっており、日本経済は生き残りをかけ、新たなスタイルの確立に向けた試行錯誤を繰り返しています。</p> <p>(3) 有効求人倍率の動向 ・・・</p> <p>本県の有効求人倍率も、令和2年(2020年)10月現在、1.05倍と大幅に低下してきており、今後も感染流行の収束や経済・雇用情勢の好転は不透明な状況にあります。</p>	<p>1 計画のねらい (p 1) ・・・</p> <p>9月8日に発表された令和2年(2020年)4～6月期のGDP年率換算はマイナス28.1%と戦後最大の落ち込みを記録。7～9月期以降増加に転じたものの、令和3年(2021年)1月、4月の緊急事態宣言再発令により、景気の本格的な回復には長期間を要すると見込まれており、日本経済は生き残りをかけ、新たなスタイルの確立に向けた試行錯誤を繰り返しています。</p> <p>(3) 有効求人倍率の動向 (p 6) ・・・</p> <p>本県の有効求人倍率も、令和2年度(2020年度)平均は1.11倍と、大幅に低下しており、今後も感染流行の収束や経済・雇用情勢の好転は不透明な状況にあります。</p>

(5) 若年者の就業状況、ニート、フリーター数

全国の年齢階級別の完全失業率を見ると、全体的には改善傾向にあります。24歳以下の若年者の完全失業率は、他の年齢層と比べ高い水準で推移しており、令和元年（2019年）には3.8%で、年齢階級の中で唯一、前年ら0.2ポイントの悪化となっており、25～34歳の年齢層も含め、若年者ほど高い傾向になっています。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済・雇用情勢の悪化により、完全失業率も上昇することが懸念されます。

(9) 障がい者の雇用状況

県内の障がい者の雇用状況を見ると、本県の民間企業の障がい者雇用率は、平成23年（2011年）は、1.67%と、全国平均と変わらない水準でしたが、平成25年（2013年）頃から全国を上回った状態で上昇を続けており、平成30年（2018年）には2.20%で、同年に引き上げられた法定雇用率（2.20%）を達成し、更に令和元年（2019年）には、2.26%（全国21位:全国平均2.11%）へと上昇しています。

(10) 外国人の雇用状況

県内の外国人の雇用状況を見ると、令和元年（2019年）10月末の雇用数は4,946人で、前年から557人（12.7%）の増加となっています。ここ5年間は毎年350～550人（前年比10%前後）程度増加しています。また令和元年（2019年）の在留資格では、技能実習が3,269人（66.1%）であり、平成27年（2015年）から5年間でも約65%は技能実習が占めている状況が続いています。

(11) 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響

・・・

9月8日に発表された本年4～6月期のGDP年率換算は、マイナス28.1%で、リーマンショック後の平成21年（2009年）1～3月期の17.8%を上回り、戦後最大の下落を記録しました。7～9月期の年率換算はプラス21.4%と増加に転じましたが、経済規模の回復は半分余りに留まっています。

(5) 若年者の就業状況、ニート、フリーター数（p9）

全国の年齢階級別の完全失業率は、令和元年（2019年）までは改善傾向にありましたが、令和2年（2020年）は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、全ての年齢層で悪化しています。特に15～24歳は4.6%で前年から0.8ポイント、25～34歳も3.9%で0.7ポイントの悪化と、他の年齢層より失業率が高く、悪化幅も大きくなっており、雇用情勢は若年層での厳しさが顕著となっています。

(9) 障がい者の雇用状況（p16）

県内の障がい者の雇用状況を見ると、本県の民間企業の障がい者雇用率は、平成23年（2011年）は、1.67%と、全国平均と変わらない水準でしたが、平成25年（2013年）頃から全国を上回った状態で上昇を続け、平成30年（2018年）には2.20%で、同年に引き上げられた法定雇用率（2.20%）を達成し、令和2年（2020年）には、2.22%（全国28位:全国平均2.15%）となっています。

(10) 外国人の雇用状況（p17）

県内の外国人の雇用状況を見ると、平成27年（2015年）から令和元年（2019年）までの5年間は、毎年350～550人（前年比10%前後）程度増加していましたが、令和2年（2020年）10月末の雇用数は4,985人で、前年から39人の増加と、ほぼ横ばいとなっています。また令和2年（2020年）の在留資格では、技能実習が3,157人（63.3%）であり、平成27年（2015年）から6年間は技能実習が約65%を占めている状況が続いています。

(11) 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響（p19）

・・・

令和2年（2020年）9月8日に発表された同年4～6月期のGDP年率換算は、マイナス28.1%で、リーマンショック後の平成21年（2009年）1～3月期のマイナス17.8%を超える戦後最大の下落を記録しました。7～9月期の年率換算はプラス21.4%と増加に転じましたが、令和3年（2021年）1月、更には4月にも緊急事態宣言が再発令され、景気の本格的な回復には長期間を要すると見込まれています。

2 (2) 職業別の求人・求職状況

本県の令和2年(2020年)10月の職業別・・・
・・・有効求人倍率は生活衛生サービス(理・美容師)は3倍を超えています。

3 (1) 県立テクノスクールでの職業能力開発の状況

企業等に在職している方を対象に職務に必要な技能・技術を習得させる在職者訓練は、・・・令和元年度(2019年度)は、250人、161社と、過去5年間で最少となっています。

3 (3) 技能検定受検者数の推移

労働市場において、働き手の職業能力を適切に評価する制度である技能検定の受検者数は、平成26年度(2014年度)に800人に達したものの、その後は600人台から500人台の間で推移しており、令和元年度(2019年度)は、581人と、減少傾向にあります。

また、高校生の受検者数も減少傾向にあり、平成30年(2018年)に130人に増加したものの、令和元年度(2019年度)は119人となっています。

第3部

3 (5) 障がい者の職業能力開発

本県の障がい者については、その雇用者数が年々増加しており、令和元年(2019年)の民間企業の雇用率は2.26%と、法定雇用率2.20%及び全国平均2.11%を上回っています。一方で、令和3年(2021年)3月から法定雇用率が2.30%に引き上げられたことから、更なる雇用の促進が求められています。

5 (1) アフターコロナにおけるドイツとの技能交流の強化

2 (2) 職業別の求人・求職状況 (p 22)

本県の令和3年(2021年)3月の職業別・・・
・・・有効求人倍率は生活衛生サービス(理・美容師)は2倍を超えています。

3 (1) 県立テクノスクールでの職業能力開発の状況 (p 28)

企業等に在職している方を対象に職務に必要な技能・技術を習得させる在職者訓練は、・・・令和2年度(2020年度)は240人と、過去6年間で最少、参加事業所数も173社で、2番目に少ない状況となっています。

3 (3) 技能検定受検者数の推移 (p 31)

労働市場において、働き手の職業能力を適切に評価する制度である技能検定の受検者数は、平成26年度(2014年度)に800人に達したものの、その後は600人台から500人台の間で推移しており、令和元年度(2019年度)は、581人と、減少傾向にあります。

また、高校生の受検者数も減少傾向にあり、平成30年度(2018年度)には130人に増加しましたが、令和元年度(2019年度)は119人となっています。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルスの感染拡大により、技能検定の前期日程が中止となり、受検者数は大きく減少しました。

第3部

3 (5) 障がい者の職業能力開発 (p 40)

本県の障がい者については、その雇用者数は増加傾向にあり、令和2年(2020年)の民間企業の雇用率は2.22%と、法定雇用率2.20%及び全国平均2.15%を上回っています。一方で、令和3年(2021年)3月から法定雇用率が2.30%に引き上げられたことから、更なる雇用の促進が求められています。

5 (1) アフターコロナにおけるドイツとの国際技能交流の強化

※(概要版)も同様に修正

●アンケート結果のグラフ

- ・数値の大きい順に並び替え（回答項目の順番に特定の理由がある場合を除く）

- ・グラフの枠線の色を統一

●アンケート結果のグラフ

- ・（例）【技術職分野等での女性の活躍推進に必要なこと】（p 9）
【高齢者の業務】（p 14）
【新型コロナを経験し、今後変化が必要と思われる働き方・・・】（p 20）
など

- ・黒色に統一。